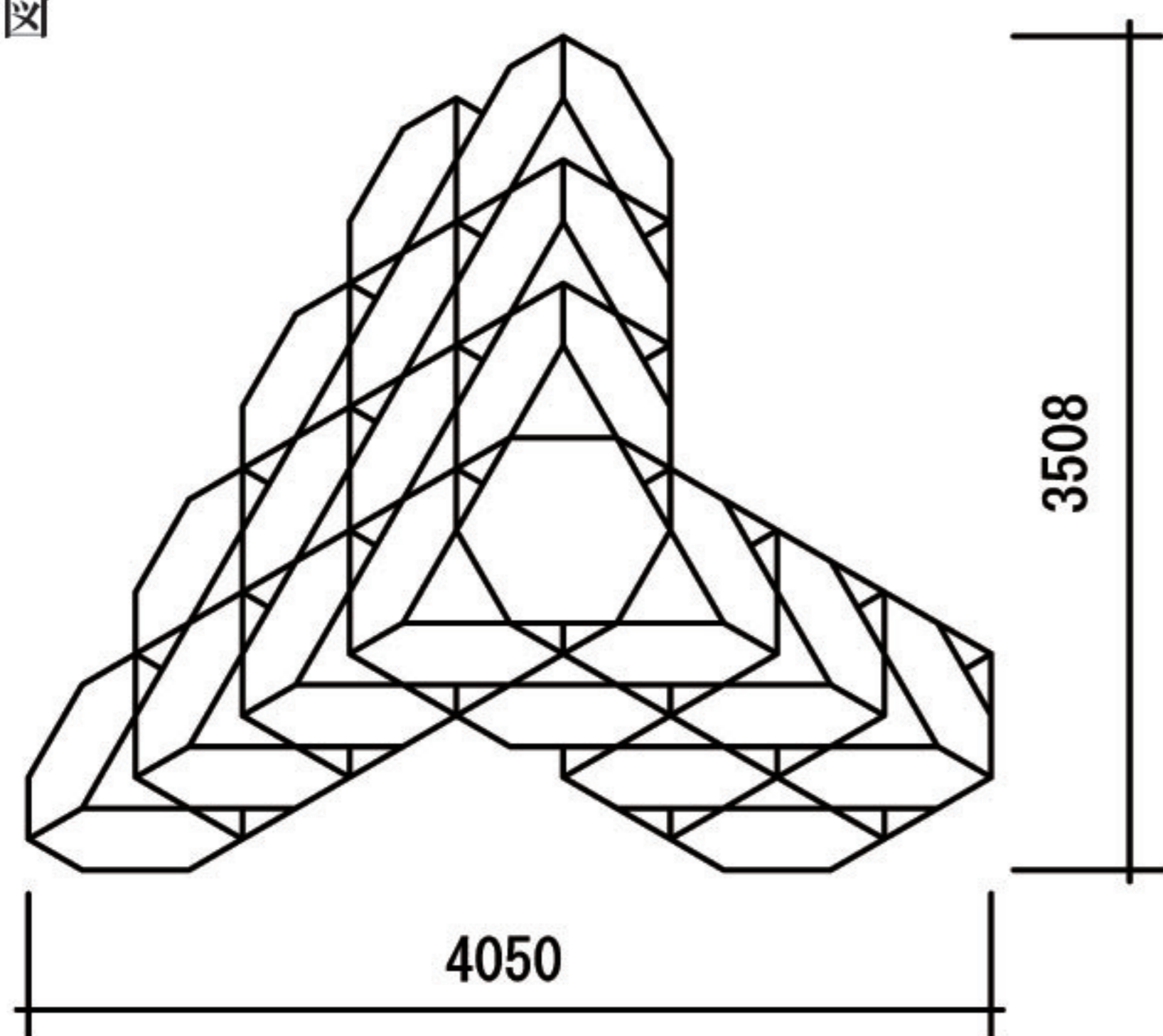
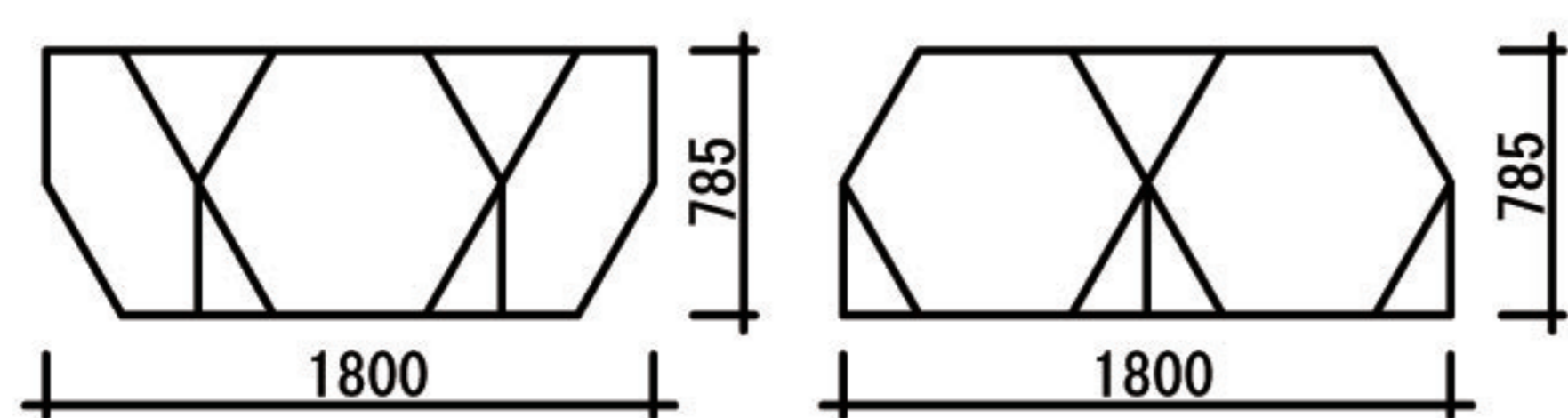
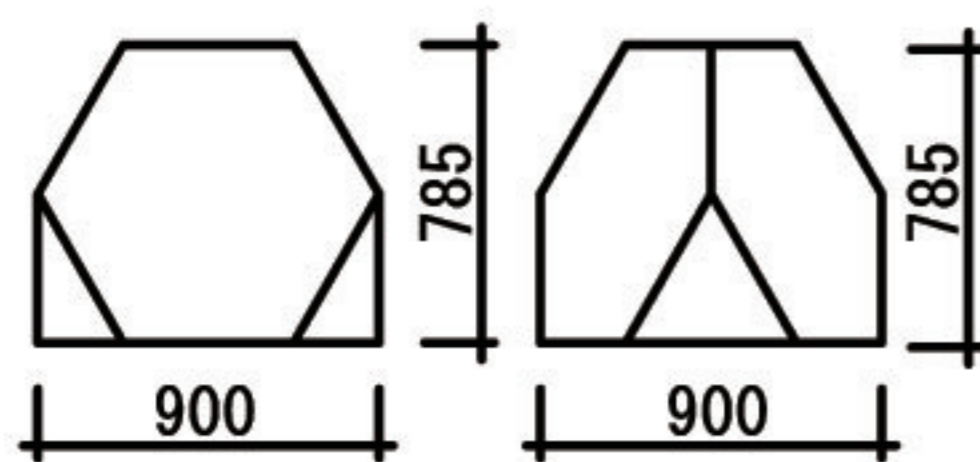


不規則な六角形

平面図



パーツ図



設計主旨

本作品のコンセプトは「規則と不規則」である。
六角形の連続という規則的な構造を三角形を構成するように組み合わせ、それぞれの面の形を変えた。
3つの面はそれぞれ「全体に開いた面」「一部開いた面」「閉じた面」と全く違った印象を与えた。
これにより見る角度によって全く違う空間を見せ、非日常的な空間を創ることを目指した。

制作過程

本作品は11個のピースから成り立っている。
これらのピースは10枚の六角形を組み合わせで形成した。
同じ形の六角形を切り出す必要があったため、作業を担当制にすることで同じ精度の六角形を効率よく作成することが出来た。その後チーム全員でピースを作成し、接合・組み立てをした。
六角形の接合には白の布粘着テープを使用した。
規則性を作り出すためにスリットの向きや、接合される面の把握、布テープの貼り方など多くの作業を同時に行うためチームワークがとても大切だった。
またピースの接合はその後の分解、接合のしやすさなどの点からマジックテープを採用した。

素材について

本作品は「身近にある素材」を使うというテーマを決め、素材を探した。
以下の3つの条件からプラスチックダンボールを採用した。
①面が作れる ②丈夫な素材である ③透明感がある
プラスチックダンボールは特性上中心のスリットが見える。このスリットが一定の方向を向くことによりコンセプトでもある「規則性」をより際立たせている。

使用材料

プラスチックダンボール
厚み5mm 910mm×1820mm
布粘着テープ(白)
マジックテープ

